

令和4年度最終処分場維持管理講習会 ～ オンデマンド講習会 ～

【実施機関】 公益社団法人全国産業資源循環連合会

最終処分場の安全・安心を確保するためには、最終処分場及び処分場を構成する各施設の役割や機能を正確に理解し、その役割や機能を発揮することができるように維持管理しなければなりません。さらに埋め立てた廃棄物が、処分場内部でどのような反応や挙動を示すかを理解しておくことも不可欠です。最終処分場を適正に維持管理するためには、埋立廃棄物の性状を正確に把握するとともに搬入管理を徹底し、性状に応じた取り扱いを行うことや処分場への搬入を防止する必要があります。本講習会では、最終処分場で起こり得る事象を、科学的・専門的な観点から解説します。最終処分業者の方はもちろん、最終処分を委託している排出事業者の方、廃棄物を最終処分場に運搬している収集運搬業者の方など、最終処分に関わる全ての方に受講をお勧めします。

① 受講期間

2022年 11月1日（火）～ 11日30日（水）

※ 質問受付期間は、11月1日～11月8日です。
質問への回答は、11月24日（予定）～11月30日に視聴可能です。

② 概要

eラーニングを利用したオンデマンド形式の講習会です。
講演動画は1本あたり20～30分です。所要時間50分の講義の場合には25分程度の動画2本になります。受講期間内であれば、好きな時間に何回でも視聴することができます。講演4と5は書籍の解説になります。お手元に無い場合にはご購入を推奨しています。ご購入は、[連合会ホームページの書籍申込ページ](#)からご注文ください。講演の詳細は裏面をご参照ください。

③ 参加条件

インターネット回線が安定した環境下で、PC等で講義の配信映像を視聴できる方

④ 受講上の 注意点

講義資料の全部または一部の二次利用は禁止します。
配信映像の録画、録音、撮影、複数人数を対象とした映写などは禁止します。
上記が確認された際は、受講権利の停止と法的措置をとらせていただく可能性があります。

⑤ 受講料

19,800円／人（税込、通信費等は各自でご負担ください。）

※当講習会への接続はおひとりにつき1端末に限らせていただきます。
※受講料入金後のキャンセルはできません。

⑥ 申込方法 受付期間

(公社)全国産業資源循環連合会のホームページ
(<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>)
からお申込ください。

連合会でご入金を確認後、受講時のログインに必要なIDとパスワードを発行します。
ログイン後に、講演動画の視聴、講演資料のダウンロード（講演1～3）、質問の提出及び質問解説動画の視聴ができます。



申込受付期間：9月1日（木）～ 10日14日（金）


⑦ 問合せ先

(公社) 全国産業資源循環連合会 最終処分講習会担当

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2ABビル4F

Tel : 03-3224-0811 E-mail : Final-Disposal@zensanpairen.or.jp

⑧ 講演概要

所用時間	カリキュラム及び内容	講師
計50分 (25分×2)	<p>1. 最終処分場を取り巻く課題と方向性</p> <p>最終処分場に関わる方に必須の知識として、最終処分場に関する規制の動向（廃止、POPs廃棄物、水銀廃棄物、特定産業廃棄物など）、災害廃棄物処理における役割及び実務上の注意事項、その他最終処分場に関する課題等について学びます。</p>	<p>環境省 廃棄物規制課 田中敏明 氏</p> 
計50分 (25分×2)	<p>2. 最終処分場に関する基本的な科学知識</p> <p>－やさしい安定化の科学－</p> <p>「改訂版最終処分場維持管理マニュアル」監修委員会委員長としてご指導いただいた山田氏から、最終処分場を適正に維持管理し、早期安定化を実現するために必要となる基本的な考え方とその裏付けとなる科学的な知識を学びます。有機物を埋め立てた最終処分場について、その安定化に關与する物理・化学・生物学的な諸現象と、安定化を促進するための維持管理の手法との関係について解説します。</p>	<p>国立環境研究所 山田正人 氏</p> 
30分	<p>3. 準好気性埋立構造の特徴と適正管理の実施例</p> <p>－福岡市における最終処分場技術開発の経緯とその成果－</p> <p>わが国の標準的な埋立構造とされている準好気性埋立構造は、福岡市と福岡大学が協力して実用化が図られた技術です。この技術は、埋立地の底部に設けた浸出水集排水管により廃棄物層の滞水を防止するとともに、熱対流により埋立地内部に空気を流入させ、浸出水の良質化や可燃ガスの発生抑制を図るなど、施工技術も維持管理も簡易です。これが確立されるまでの経緯と、その機能を発揮させるための維持管理上の工夫や技術の継承について学びます。</p>	<p>福岡市 環境局 紫原直樹 氏</p> 
計120分 (1本25分程度)	<p>4. 改訂版産業廃棄物最終処分場維持管理マニュアル解説</p> <p>「改訂版最終処分場維持管理マニュアル」のとりまとめをご指導いただいた柳瀬氏と田中氏から、それぞれ事例やデータ等を交えて解説します。柳瀬氏の講演は、浸出水の発生量抑制と良質化や発生ガス対策及び埋め立てた廃棄物を早期安定化させるための維持管理方法を中心として解説します。田中氏の講演は、最終処分場の環境保全対策として、最終処分場を構成する施設が適正に機能を維持していることを確認するためのモニタリングを中心として、サンプリング方法、データの見方、評価方法等を解説します。</p>	<p>福岡大学 柳瀬龍二 氏</p>  <p>福岡大学 田中綾子 氏</p> 
50分 (25分×2)	<p>5. 埋立処分委託契約書解説</p> <p>「産業廃棄物埋立処分委託契約の手引」を監修いただいた岩田氏から、最終処分場の適正な埋立処分を確保する観点から、埋立処分の委託契約当事者の役割分担と責任の所在など、委託契約書に定めておくべき事項など、埋立処分委託契約書様式を解説します。</p>	<p>岩田行政書士・土地 家屋調査士事務所 岩田 隆氏</p> 
30分	<p>6. 質疑応答（事前質問への回答）</p> <p>ご提出いただいた質問に対する回答を紹介します。</p>	